

contents -----

●「塩屋見聞録 1955-2015」
ついに完成

●「しおや景観ガイドライン」
作成中

●まちを知る地図
「しっとくしおや」完成

●しおやあれやこれや vol.4
「塩屋で農業を考える」

●塩屋コミュニティバス
「しおかぜ」見極め運行

●都市計画道路
塩屋多井畑線について

Shioya Machizukuri NEWSLETTER

塩屋の歴史
塩屋による塩屋のためのまちづくり

2016
Spring

No. 24

塩屋まちづくり推進会 編集/発行

会長：原田幸男（078-752-9526）
問合せ：shioya_machizukuri@yahoo.co.jp
ウェブ：http://shioyamachisui.web.fc2.com/

「塩屋見聞録 1955-2015」

～塩屋の歴史・文化的資産を地域で継承する活動～

日本各地どこも似たような景観に埋め尽くされているが、高度経済成長期前の街の風景は現在とずいぶん違うものであった。塩屋も同じように現在開発の波にさらされているが、何とか昔の風情が記憶の遺産として街並みにひっそりと残っている状況である。これら塩屋の街がもつ雰囲気や佇まいがどのように創られたのかを確認するため、塩屋に長年に渡って生活されてきた長老の方々から、昔話を伺うトークイベント「徹公の部屋」を平成26年1月から開催することとなった。「いかなごきぎ煮事始め」からスタートし、1～2月に一度のペースで開催され、平成28年2月には第17回を開催するに至った。

語り部である長老方の話からは、子供時代の街の風景や自然環境そして地域の生活感など、驚くような内容が次々に飛び出し時間が足りないくらい。話し、笑い、当時を想うことが、地域の交流を活性化し、世代を超えた輪が広がっていくようだ。

これらのお話をもとにした戦後まもない1955年の地図を甦らせ、現在と比較することで、塩屋の街の成り立ちや変遷について地域の方に街の魅力をより深く知ってもらおうと考えた。塩屋に関するトピックも数多く集め、読み物としても楽しめるものをめざした。

この3月に発刊された塩屋見聞録 1955-2015 は、塩屋のもつ地域資産について多くの人が気づき、この街の魅力あふれる歴史に触れ、住んでいる地域について誇りを感じて頂けるにちがいない。今年度は60年前の塩屋駅周辺を詳しく地図に再現することで、塩屋で育まれてきた商店街や国道沿いの生活感をよりリアルに伝えたいと考えている。
(寺岡宏治)

ついに完成
しました



・しおみちゃんの家
・旧グッゲンハイム邸
・TRUNK DESIGN KOBE
SHIOYA
などに置いています。
(¥300)

あ
な
た
の
参
加
が
こ
の
街
を
変
え
る
。